

平成31年度（第1期試験）

東北大学大学院教育学研究科博士課程

（前期課程・一般選抜）

入学試験問題 外国語科目（英語）

注 意

- 1 試験時間は90分。
- 2 問題紙は5枚（表紙を除く）、解答紙は4枚。
- 3 設問Ⅰ、設問Ⅱの解答はそれぞれ別の解答紙に記入すること。
- 4 辞書の持ち込み不可とする。

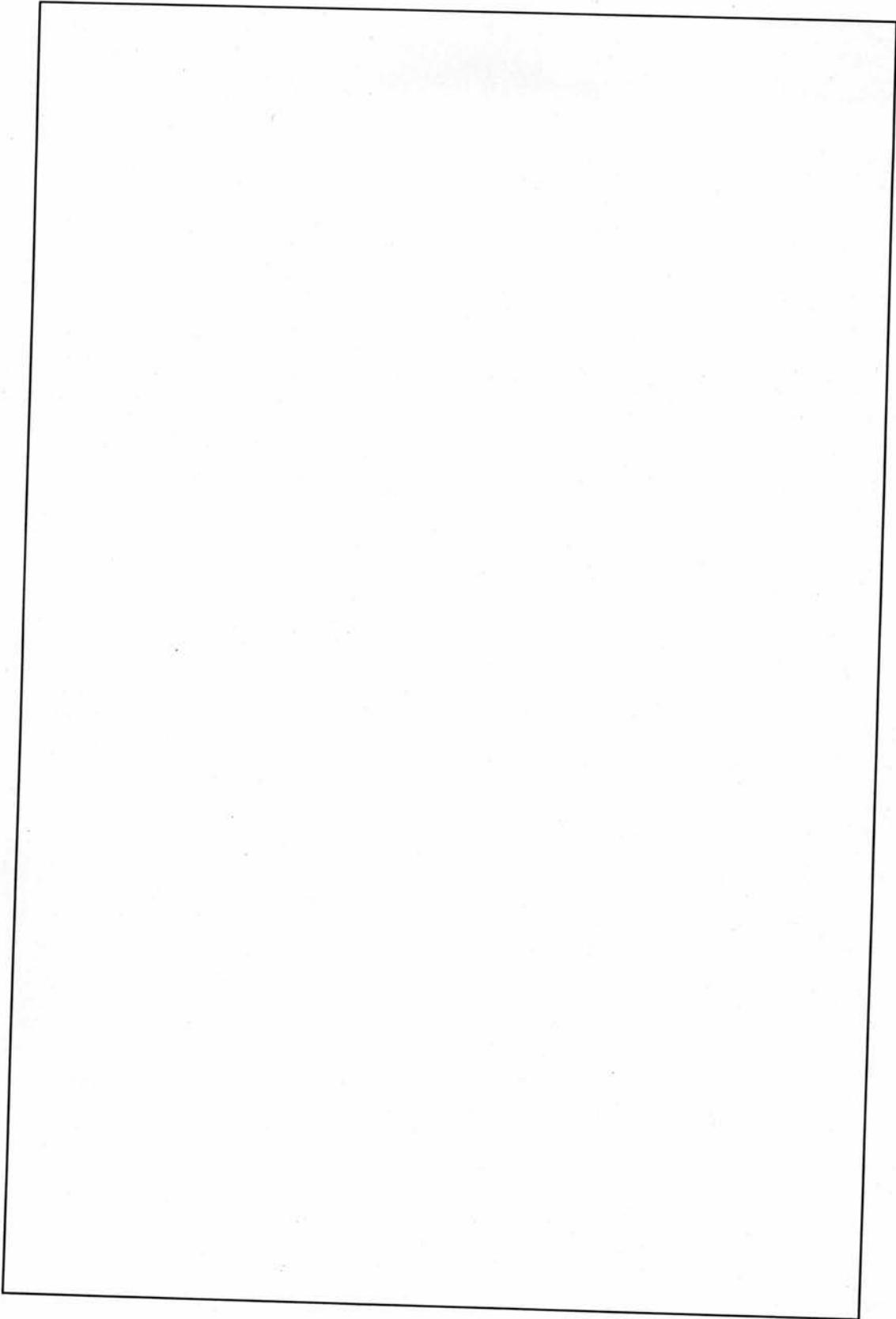
【設問 I】 ケア倫理学 (the ethics of care) を論じる次の英文を読み、下線部①～⑤  
を日本語に訳しなさい。

下記に以下の抜粋が入ります。

Virginia Held, The Ethics of Care : in Oxford Handbook of Ethical Theory, edited by  
David Copp, Oxford University  
Press(2006), pp. 537-539. より作成

また、以下の箇所の下線を施しています。

- 下線部① 5行目 "Care" has the advantage of... ~ 8行目 "...is both value and practice."  
下線部② 15行目 "The ethics of care is..." ~ 17行目 "...as a form of virtue ethics."  
下線部③ 33行目 "The ethics of care..." ~ 37行目 "...progress."  
下線部④ 48行目 "...the ethics of care values..." ~ 53行目 "...what morality  
recommends."  
下線部⑤ 56行目 "the ethics of care rejects..." ~ 59行目 "...impartiality."



(Virginia Held, The Ethics of Care : in *The Oxford Handbook of Ethical Theory*,  
edited by David Copp, Oxford University Press (2006), pp. 537-539. より作成)

【設問Ⅱ】 次の英文を読み、下線部①～④を日本語に訳しなさい。ただし、人名につ  
いては原文表記のままでよい。

ここに以下の抜粋が入ります。

Ann M. Kring, Sheri L. Johnson, Gerald C. Davison, John M. Neale, *Abnormal Psychology* (11th Edition, International Student Version), John Wiley & Sons(2010), pp. 513-514. より作成

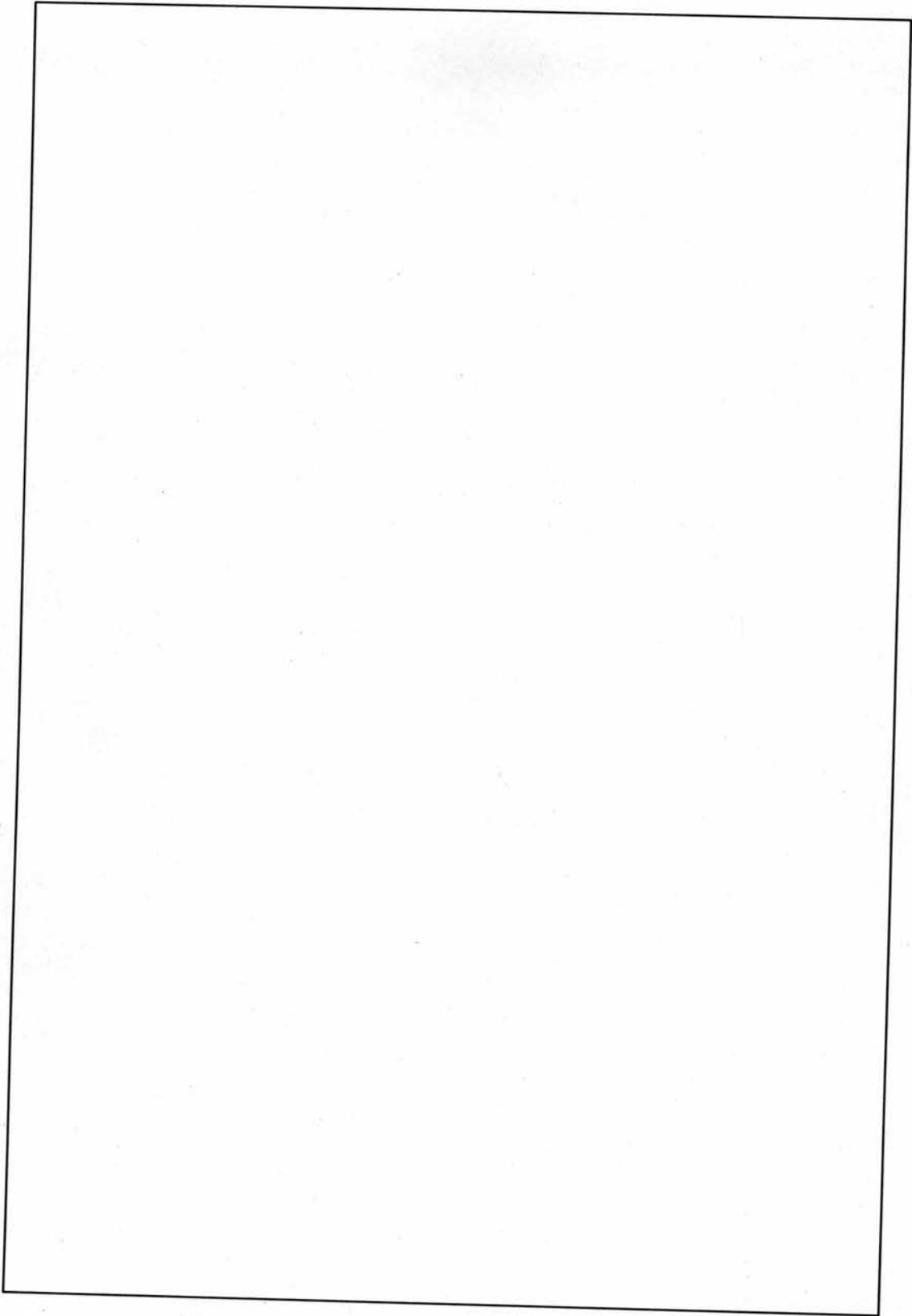
また、以下の箇所の下線を施しています。

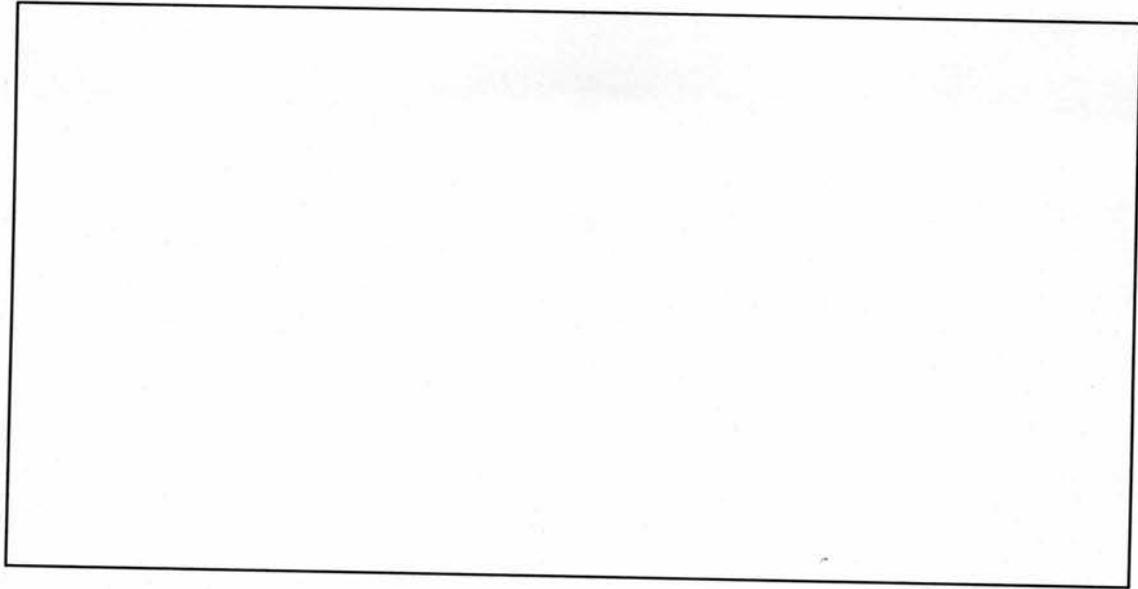
下線部① 7行目 "In one study, ..." ~ 10行目 "...more positive reinforcement."

下線部② 15行目 "Indeed, ..." ~ 18行目 "...as well as medication treatment."

下線部③ 40行目 "They had clients rate..." ~ 43行目 "...their therapy sessions."

下線部④ 50行目 "For example, ..." ~ 53行目 "...change those processes."





(Ann M. Kring, Sheri L. Johnson, Gerald C. Davison, John M. Neale, *Abnormal Psychology* (11th Edition, International Student Version), John Wiley & Sons (2010), pp. 513-514. より作成)

平成31年度（第1期試験）

東北大学大学院教育学研究科博士課程

（前期課程・一般選抜）

入学試験問題 外国語科目（日本語）

注 意

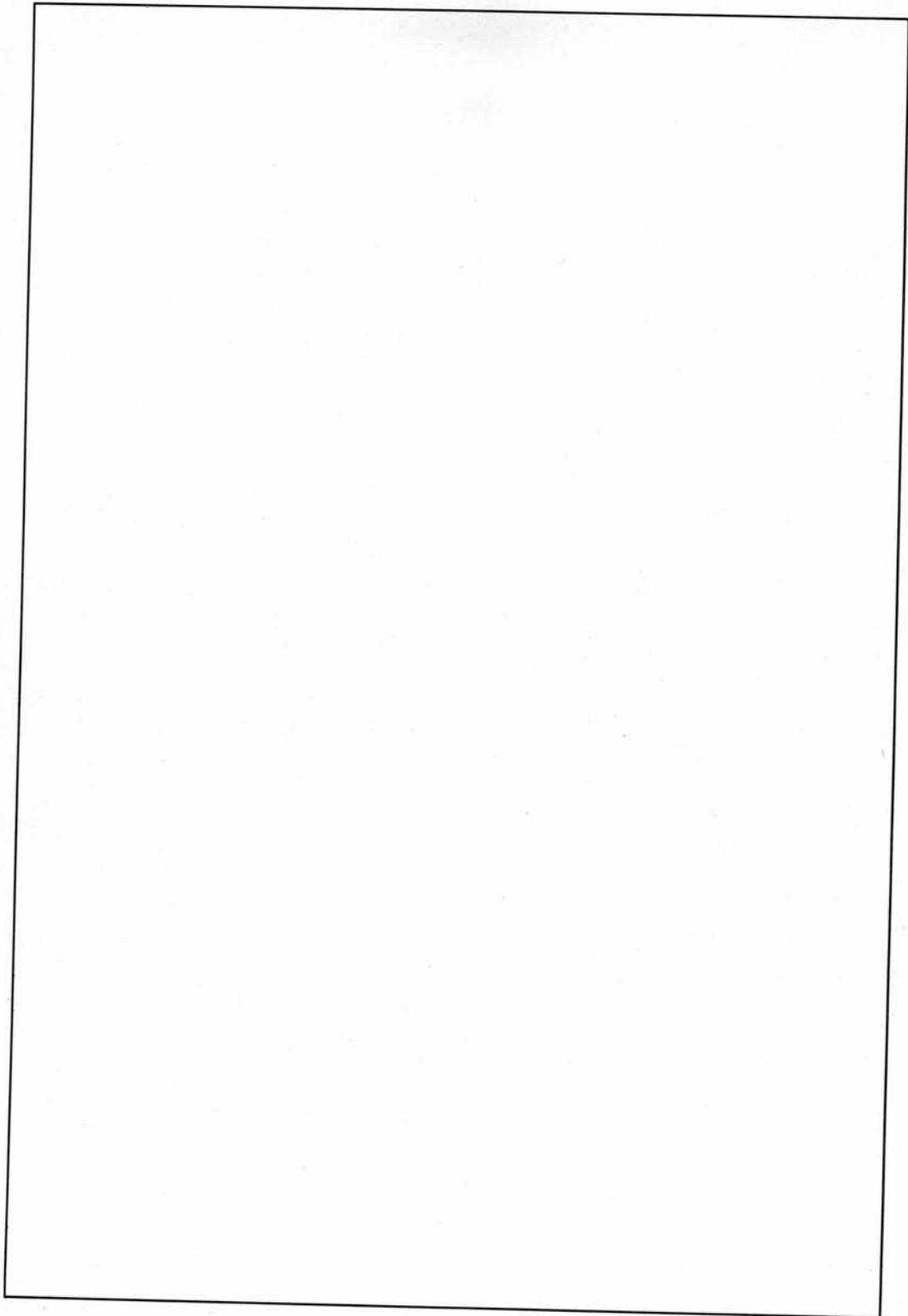
- 1 試験時間は90分。
- 2 問題紙は6枚(表紙を除く)、解答紙は2枚。
- 3 設問Ⅰ、設問Ⅱの解答はそれぞれ別の用紙に記入すること。
- 4 辞書の使用は、不可とする。

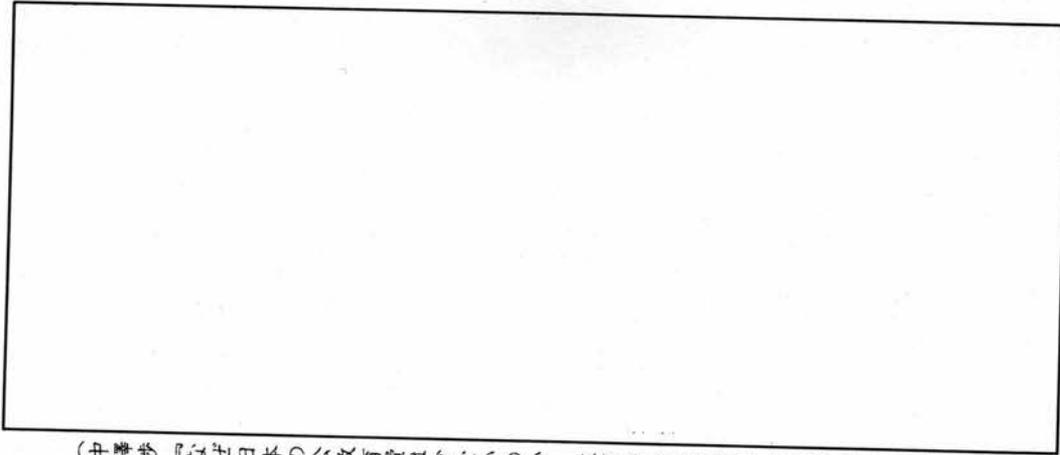
設問一 次の文を読み問に答えなさい。

ここに下記文献の抜粋が入ります。  
中澤 渉 『なぜ日本の公教育費は少ないのか 教育の公的役割を問い直す』  
勁草書房 2014年 31から35頁 一部改変

また、下記の箇所に傍線を付しています。

- 傍線部① 17行目
- 傍線部② 21行目
- 傍線部③ 46, 47行目
- 傍線部④ 61, 62, 63行目
- 傍線部⑤ 79, 80行目





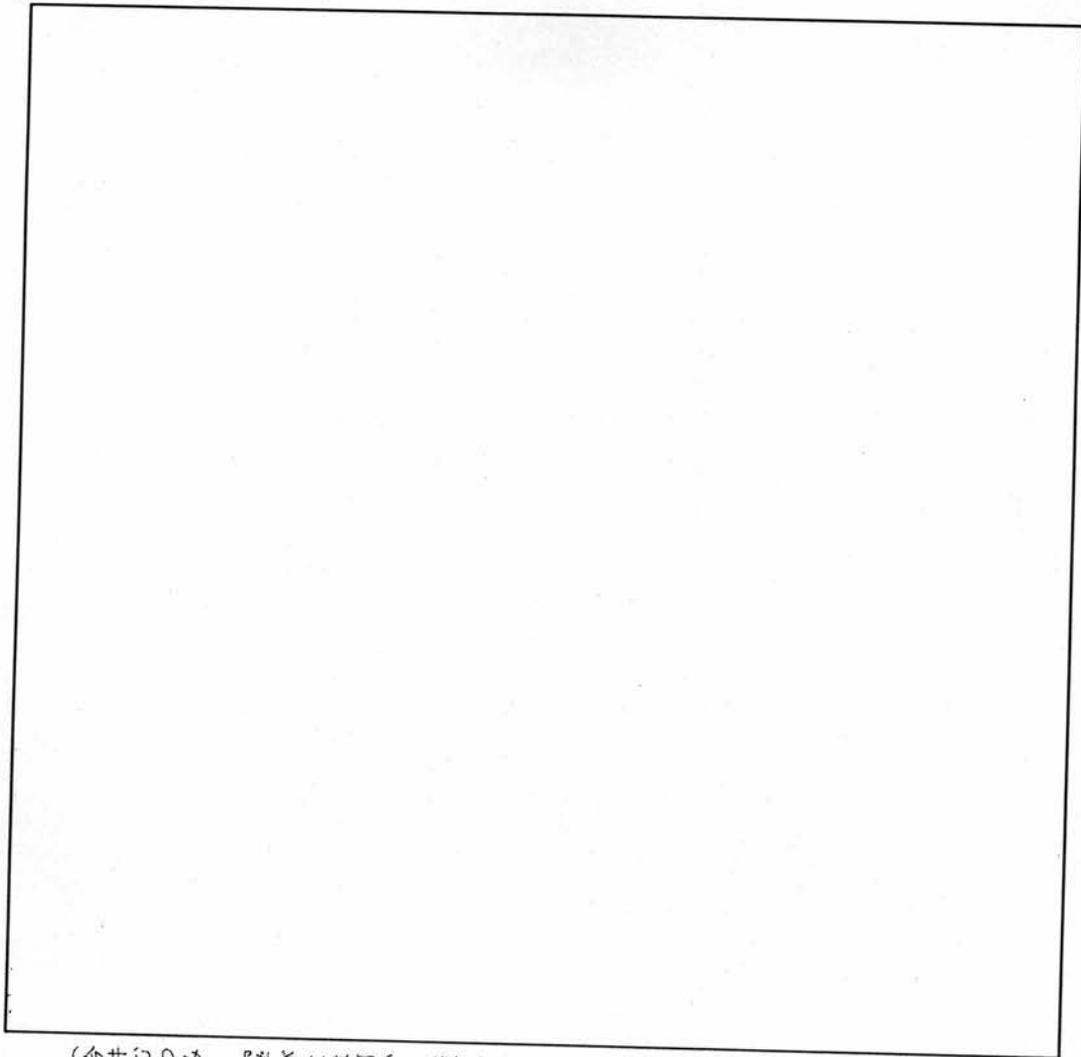
(中澤涉『なぜ日本の公教育費は少ないのか 教育の公的役割を問いなおす』勁草書房、二〇一四年、三一〜三五頁より作成、一部改変)

- 問 1 傍線部 (一) ～ (五) の片仮名を適切な漢字に書き改めなさい。
- 問 2 傍線部 ① の「それ」の示す内容を説明しなさい。
- 問 3 傍線部 ② で「学校という媒体」とあるが、ここでの「媒体」の意味を本文に即して説明しなさい。
- 問 4 傍線部 ③ の「パーソナルな意義」とはどんな意義か、本文に即して説明しなさい。
- 問 5 傍線部 ④ のように筆者が述べる理由を、本文に即して説明しなさい。
- 問 6 傍線部 ⑤ で述べられている「公的な学校教育」の運営の在り方について、国家権力や政府と、市民(国民)の関係を、本文に即して説明しなさい。

3/6

設問 Ⅱ 次の文を読み問いに答えなさい。

ここに下記文献の抜粋が入ります。  
今井むつみ『学びとは何か〈探求人〉になるために』  
岩波書店 2016年 71から75頁より作成 一部改変



(今井むつみ 『学びとは何か―探求人になるために』 岩波書店、二〇一六年、七一〜七五頁より作成、一部改変)

- 問 1 傍線部 (一) ～ (五) の漢字に仮名をふりなさい。
- 問 2 傍線部 ① 「石そっくりにつくった発泡スチロールを手にとったとき、思っていたよりずっと軽くて子どもはびっくりする」について、なぜ子どもは驚くのか、その理由を本文に即して具体的に説明しなさい。
- 問 3 傍線部 ② 「モノがどんどん分割されて目に見えなくなってもまだ重さがあり、体積があるということが、子どもには納得できない」について、

なぜ子どもは納得できないのか、その理由を本文に即して具体的に説明しなさい。

問 4 傍線部③「理解のハードルが高くなる」および傍線部④「頭の中を素通りしてしまう」について、その意味を具体的に説明しなさい。

問 5 傍線部⑤「互いに深く関連した概念が絡まり合って誤った思い込みが形成されている」について、本文に即して説明しなさい。

平成31年度（第1期試験）

東北大学大学院教育学研究科博士課程

（前期課程・一般選抜）

教育政策科学コース

入学試験問題（専門科目）

注 意

- 1 試験時間は120分。
- 2 問題紙は4枚（表紙を除く）、解答紙は3枚。
- 3 設問Ⅰ（共通問題）は全員解答すること。また、設問Ⅱ（選択問題）については、志望する専門領域に応じて問題を選択の上、解答すること。
- 4 解答については、設問番号および問題番号を明記の上、記入すること。
- 5 解答紙の使用については、設問ごとの指示に従うこと。

設問 I : 共通問題 (全員解答すること)

次の文を読み、下記の3つの問いに答えなさい (問1～問3への解答を解答紙1枚におさめること)。

日本では、子どもの相対的貧困率 (等価可処分所得の中央値の半分に満たない世帯に暮らす子どもの割合) が 1980 年代から上昇傾向にあり、2012 年には 16.3% の子どもが貧困状態にあることが明らかとなった。このことを受けて、国会では 2013 年に「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が成立し、翌年には「子どもの貧困対策に関する大綱」が策定された。大綱では、重点施策として、「教育の支援」「生活の支援」「保護者に対する就労の支援」「経済的支援」などが掲げられ、様々な施策が実施されてきた。

その後、2015 年の調査では子どもの相対的貧困率は 13.9% へと低下したものの、依然として OECD 平均を上回っており、さらなる対策が求められている。

- 問1 「子どもの貧困」はなぜ是正されるべきなのか。複数の観点から論じよ。
- 問2 日本で行われている「子どもの貧困」対策の具体例を一つ挙げ、その施策の要点、実施に関わる主体 (機関)、ならびに実施における留意点について述べよ。
- 問3 「子どもの貧困」対策を進めるうえで、貧困率の改善のみに注目してはならない理由を述べ、どのような側面へのアプローチが求められるか説明せよ。

設問Ⅱ：選択問題（志望する専門領域の問題を選択して解答すること）

【教育社会学領域】

以下の問いに答えなさい（問1・問2で解答紙1枚、問3で解答紙1枚を使用すること）。

問1 以下の語句について、具体例を示し、それぞれ4行以内で説明しなさい。

- ① 高等教育の「エリート段階」と「ユニバーサル段階」
- ② 「Cultural Capital」と「Social Capital」
- ③ 「隠れたカリキュラム」と「ピグマリオン効果」

問2 以下の語句について、実証研究での応用例をあげて、それぞれ4行以内で説明しなさい。（注：とりあげる応用例は、架空のもので構わない）

- ① 「ダブル・バーレル (double-barrel)」質問
- ② 一般化最小二乗推定量 (Generalized Least Square Estimator: GLS)
- ③ Schwartz の (ベイジアン) 情報量規準 (BIC: Bayesian Information Criterion)

問3 「学歴フィルター」として知られるように、企業は新入社員のリクルートに際して学歴や出身校の情報を利用する。企業がこうした情報を利用する理由について「人的資本論の立場」と「シグナリング理論の立場」から説明し、両者の理論の問題点を指摘しなさい。

【教育行政学領域】

以下の問いに答えなさい（問1で解答紙1枚、問2で解答紙1枚を使用すること）。

問1 日本における学校の空調設備に関する教育行政上の対応について次の文章を読み、以下の小問（1）・（2）に答えなさい。

2017年4月1日時点の文部科学省調査（「公立学校施設の空調（冷房）設備設置状況調査」）によると、公立小中学校の普通教室についての設置率は49.6%で、前回調査（3年前）の数値（32.8%）から上昇した。ところが、都道府県別にみると、都道府県のあいだで設置率に大きなばらつきが存在することがわかる。たとえば、公立小中学校の普通教室についての設置率についてみると、東京都は99.9%であるのに対して、北海道は0.3%である。四国地方にかぎってみると、香川県が97.7%であるのに対して、愛媛県は5.9%である。

- （1）都道府県のあいだで公立小中学校の普通教室の空調設備の設置状況に差が生じている原因について、地方教育行政に関する制度を具体的に示しながら述べなさい。
- （2）公立小中学校の設置者が空調設備の設置率を高めようとする場合、どのような主体（アクター）との調整、折衝、要望を行う必要があるだろうか。具体的な主体を示しながら述べなさい。また、各主体に付与されている権限についても記しなさい。

問2 教育行政に関する次の語句のなかから3つを選択し、それぞれ200字程度で説明しなさい。

- ①教育振興基本計画
- ②株式会社立学校
- ③アフターマティブ・アクション
- ④教員免許更新制
- ⑤チームとしての学校

【比較教育学領域】

次の文を読み、下の問いに答えなさい（問1で解答紙1枚、問2で解答紙1枚を使用すること）。

ここに下記文献の抜粋が入ります（一部改変）  
馬越徹『比較教育学—越境のレッスン—』東信堂、2007年、20頁

また、次の部分について、下線を付してあります。

下線部①: 4行目 “方法としての「越境 (crossing the border)」”

下線部②: 5-6行目 “ボーダレス時代における比較教育学”

問1 下線部①について、これまでの比較教育学において考えられてきた、方法としての「越境 (crossing the border)」とはどのようなものであったか、論じなさい。

問2 下線部②について、ボーダレス時代における比較教育学とは、どのようなものとなりうると考えられるか、あなたの考えを論じなさい。

平成31年度（第1期試験）

東北大学大学院教育学研究科博士課程

（前期課程・一般選抜）

グローバル共生教育論コース

入学試験問題（専門科目）

注 意

- 1 試験時間は120分。
- 2 問題紙は.....1枚（表紙を除く）、解答紙は.....2枚。
- 3 解答は、問題番号を明記の上、それぞれ別の用紙に記入すること。

## グローバル共生教育論（専門科目）

以下の設問に答えなさい。解答はそれぞれ別の解答用紙に記入しなさい。

1. 教育を完結するものではなく、生涯学習の観点から考察することにより、どのような違いがでてくるのか。説明しなさい。
2. 学校教育と成人教育とを比較すると、どのような違いがあると考えられるのか。具体的な例をあげながら答えなさい。

平成 31 年度（第 1 期試験）

東北大学大学院教育学研究科博士課程

（前期課程・一般選抜）

教育情報アセスメントコース

入学試験問題（専門科目）

注 意

- 1 試験時間は 120 分。
- 2 問題紙は 7 枚（表紙を除く）、解答紙は 2 枚、草案紙は 1 枚。草案紙は自由に使ってよい。
- 3 設問 I（必須問題）は全員解答すること。また、設問 II（選択問題）については、II-A または II-B のいずれか 1 問を選択して解答すること。選択した問題の記号を解答紙（2 枚目）に明示すること。
- 4 解答は、設問ごとに別の解答紙を使い、複数の間がある場合はその番号を明記の上、記入すること。

設問 I (必須問題) つぎの文章を読んで、問1～3に答えなさい。

ここに下記文献の抜粋が入ります(一部改変)。

マイケル・トマセロ(橋彌和秀訳),『ヒトはなぜ協力するのか』,勁草書房,2013.一部改変

また、次の部分について、下線を付してあります。

下線部①:11行目 “文化の累積的進化”  
下線部②:15行目 “文化的ラチェット” …16行目 “歯止め”  
下線部③:18行目 “生物的に継承している”  
下線部④:19行目 “文化的に継承している”  
下線部⑤:24行目 “(中略)”

問1 下線部②の「文化的ラチェット〔歯車の留め金。歯止め〕」とはどのような仕組みか。また、これが下線部①の「文化の累積的進化」とどのように関係するのか。本文に即して、あわせて200字程度で説明しなさい。

問2 下線部③に「生物学的に継承している」、下線部④に「文化的に継承している」とあるが、それぞれ何がどのように継承されるのか。あなたの考えを、あわせて200字程度で説明しなさい。

問3 下線部⑤の中略された部分には、ヒトが生み出した社会制度が例示、説明されている。この部分を埋めるにふさわしい文章（社会制度の例示、説明）を考え、200字程度で書きなさい。

## 設問Ⅱ（選択問題）

Ⅱ-A イノベーションと学習環境のコアにある原則（OECD（2013）, Innovative Learning Environments, Educational Research and Innovation, OECD Publishing.）には、

1. 学習者の学び自体を学習者の手に（Recognise the learners as its core participants, encourage their active engagement, and develop in them an understanding of their own activity as learners (“self-regulation”））
2. 社会的でありしばしば協働的である（Be founded on the social nature of learning and actively encourage group work and well-organised co-operative learning.）
3. 動機づけと感情を大切に（Have learning professionals who are highly attuned to the learners’ motivations and the key role of emotions in achievement.）
4. 既有知識を含め、個人の違いに配慮（Be acutely sensitive to the individual differences among the learners in it, including their prior knowledge.）
5. 過度な負担なく、一人一人の学習者に要求を（Devise programmes that demand hard work and challenge from all without excessive overload.）
6. 目標と合致したアセスメントと形成的フィードバック（Operate with clarity of expectations and deploy assessment strategies consistent with these expectations; there should be strong emphasis on formative feedback to support learning.）
7. 学校内外で学びのつながりを横断的に（Strongly promote “horizontal connectedness” across areas of knowledge and subjects as well as to the community and the wider world.）

とある。この原則について、日本の文脈から、あなたの考えるところを論じなさい。

Ⅱ-B 次期学習指導要領では「プログラミング教育」の導入が予定されている。プログラミングと教育に関する以下の3つの文章を読み、問1～3に答えなさい。

文章 1

ここに下記文献の抜粋が入ります（一部改変）

文部科学省，『小学校プログラミング教育の手引き（第一版）』，2018．一部改変

また、次の部分について、下線を付してあります。

下線部①:1行目 “小学校におけるプログラミング教育のねらい”

文章 2

ここに下記文献の抜粋が入ります（一部改変）

中村伊知哉・石戸奈々子，『デジタル教科書革命』，ソフトバンククリエイティブ，2010．一部改変

文章 3

ここに下記文献の抜粋が入ります（一部改変）

アリアン・アームストロング，チャールズ・ケースメント（瀬尾なおみ 訳），『  
コンピュータに育てられた子供たち』，七賢出版，2000．一部改変

また、次の部分について、下線を付してあります。  
下線部: 末尾から二行目 “どうしても動きのとれない矛盾”

問1 文章3の下線部にある「どうにも動きのとれない矛盾」とはどういうことか。また、もしこれから学校で行われるプログラミング教育においてこの「矛盾」が起きた場合、学校現場ではどのような問題が起こると予想されるか。あわせて150字程度で答えなさい。

問2 LOGOは1960年代後半に開発されたプログラム言語である。LOGOの開発から現在まで、教育用プログラミング言語はどのように変化してきたと考えられるか。150字程度であなたの考えを述べなさい。

問3 あなたが小学生相手にプログラミング教育を行うとしたらどのような場面でどのように行うか。文章1の下線部の意味するところをふまえ、あなたのアイデアを述べなさい(図表を用いてもよい)。

平成31年度（第1期試験）

東北大学大学院教育学研究科博士課程

（前期課程・一般選抜）

教育心理学コース

入学試験問題（専門科目）

注 意

1. 試験時間は120分。
2. 問題紙は4枚（表紙を除く）、解答紙は4枚。
3. 【共通】【A-1】【A-2】・・・の解答は、問題番号を明記の上、それぞれ別の解答紙に記入すること。
4. 志願する領域によって解答する問題が異なるので、注意すること。

「教授学習心理学」領域を専攻しようとするものは【共通】【A-1】【A-2】【A-3】の各問題に解答すること。

「発達心理学」領域を専攻しようとするものは【共通】【B-1】【B-2】【B-3】の各問題に解答すること。

「発達障害学」領域を専攻しようとするものは【共通】【C-1】【C-2】【C-3】の各問題に解答すること。

<教授学習心理学領域>

【共通】 下の図は、不登校児童生徒の割合の推移を示している。この図を参考にした上で、不登校の背景にある要因と不登校の児童生徒への支援について、「学力」「仲間関係」「発達障害」という用語を使って述べなさい。

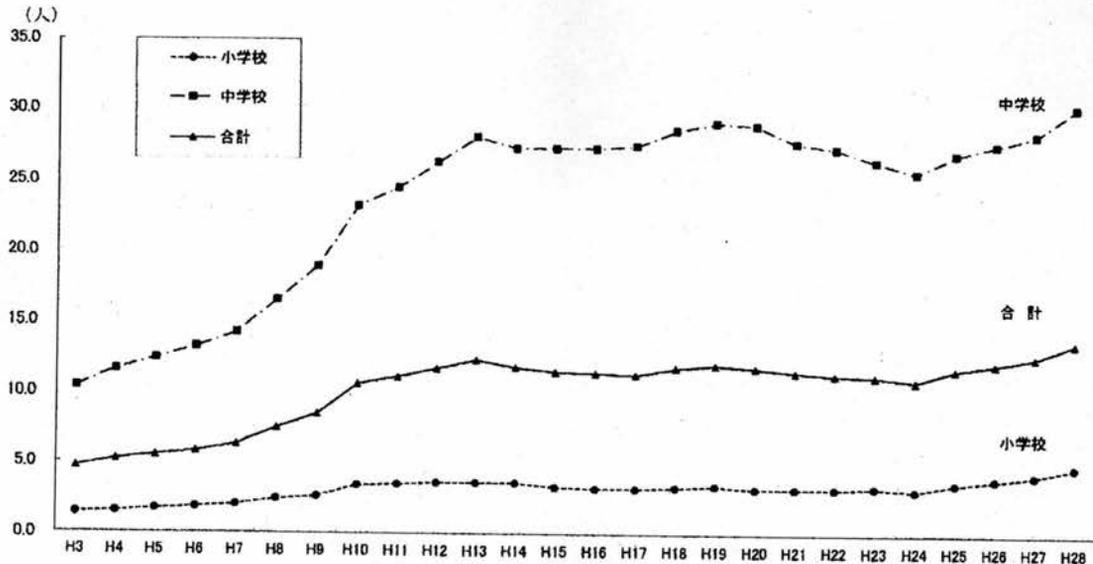


図1 不登校児童生徒の割合(1000人当たりの不登校児童生徒数)

文部科学省(2017) 平成28年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査」結果(速報値)について2。

([http://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/29/10/\\_icsFiles/afieldfile/2017/10/26/1397646\\_002.pdf](http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/29/10/_icsFiles/afieldfile/2017/10/26/1397646_002.pdf))

【A-1】 メタ認知(metacognition)とは何かを説明しなさい。また学習においてメタ認知がどのように機能するかを説明しなさい。

【A-2】 概念とその形成に関する心理学的理論やモデルについて、「典型性」「基礎レベル(basic level)」の各語を用いて説明しなさい。

【A-3】 教育評価の目的について、「診断的評価」「形成的評価」「総括的評価」の各語を用いて説明しなさい。

< 発達心理学領域 >

【共通】 下の図は、不登校児童生徒の割合の推移を示している。この図を参考にした上で、不登校の背景にある要因と不登校の児童生徒への支援について、「学力」「仲間関係」「発達障害」という用語を使って述べなさい。

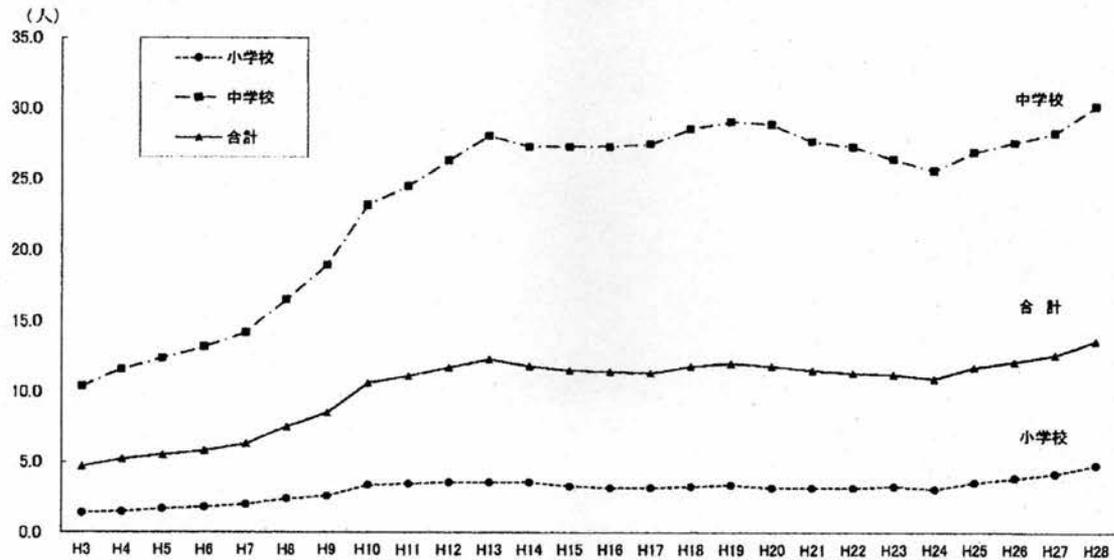


図1 不登校児童生徒の割合(1000人当たりの不登校児童生徒数)

文部科学省(2017) 平成28年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査」結果(速報値)について2。

([http://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/29/10/\\_icsFiles/afieldfile/2017/10/26/1397646\\_002.pdf](http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/29/10/_icsFiles/afieldfile/2017/10/26/1397646_002.pdf))

【B-1】 「同化」「調節」「均衡化」という用語の定義とその例を示した上で、J.Piagetの認知発達の理論について説明しなさい。

【B-2】 「気質」について定義した上で、それが生涯にわたる発達にどのような影響をもたらすかについて説明しなさい。

【B-3】 1950年代に提唱されたE.H.Eriksonの漸成発達理論とR.J.Havighurstの発達課題論について、両者の類似点と相違点を明確にしなさい。

<発達障害学領域>

【共通】 下の図は、不登校児童生徒の割合の推移を示している。この図を参考にした上で、不登校の背景にある要因と不登校の児童生徒への支援について、「学力」「仲間関係」「発達障害」という用語を使って述べなさい。

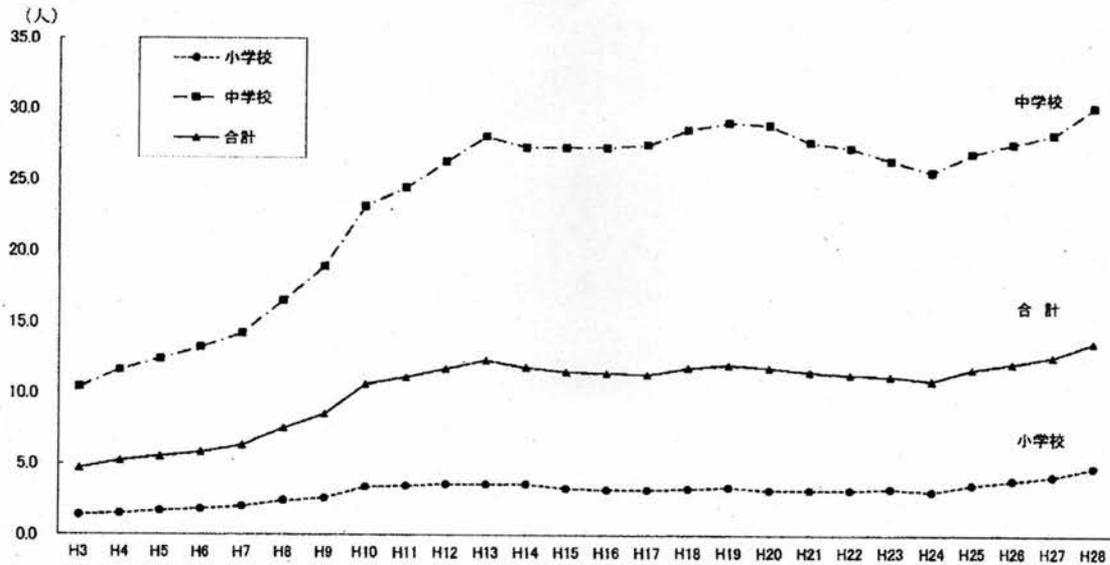


図1 不登校児童生徒の割合(1000人当たりの不登校児童生徒数)

文部科学省(2017) 平成28年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査」結果(速報値)について2。

([http://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/29/10/\\_icsFiles/afieldfile/2017/10/26/1397646\\_002.pdf](http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/29/10/_icsFiles/afieldfile/2017/10/26/1397646_002.pdf))

【C-1】 学齢期の日本語の発達性ディスレクシアの症状(特徴)として「すらすらと読むことが出来ず、特に語尾や文末を読み誤ることが多い」「漢字の習得で困難を示し、視写でも困難を示すことがある」といったものがあげられている。これらの症候の背景にある心理学的要因について症状(特徴)ごとに具体的に論じなさい。

【C-2】 他者の表情や意図の理解等、他者の心的状況の理解に必要な神経基盤について典型発達と自閉症スペクトラム障害の違いに触れつつ論じなさい。その際に以下の用語を用いること。

用語：メンタライジング、心の理論、ミラーニューロン

※【C-3】の問題は次のページにあります。

- 【C-3】 新しい学習指導要領においては、特別な配慮を必要とする児童への指導についての記述が以下のように改められた（例として、平成29年3月告示の小学校学習指導要領の該当部分を示す）。これらの記述と我が国におけるインクルーシブ教育システムとの関係について論じなさい。

小学校学習指導要領（平成29年3月 告示）

第1章 総則

第4 児童の発達への支援

2 特別な配慮を必要とする児童への指導

(1) 障害のある児童などへの指導

- ア 障害のある児童などについては、特別支援学校等の助言又は援助を活用しつつ、個々の児童の障害の状態等に応じた指導内容や指導方法の工夫を組織的かつ計画的に行うものとする。
- イ 特別支援学級において実施する特別の教育課程については、次のとおり編成するものとする。
- (7) 障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るため、特別支援学校小学部・中学部学習指導要領第7章に示す自立活動を取り入れること。
- (4) 児童の障害の程度や学級の実態等を考慮の上、各教科の目標や内容を下学年の教科の目標や内容に替えたり、各教科を、知的障害者である児童に対する教育を行う特別支援学校の各教科に替えたりするなどして、実態に応じた教育課程を編成すること。
- ウ 障害のある児童に対して、通級による指導を行い、特別の教育課程を編成する場合には、特別支援学校小学部・中学部学習指導要領第7章に示す自立活動の内容を参考とし、具体的な目標や内容を定め、指導を行うものとする。その際、効果的な指導が行われるよう、各教科等と通級による指導との関連を図るなど、教師間の連携に努めるものとする。
- エ 障害のある児童などについては、家庭、地域及び医療や福祉、保健、労働等の業務を行う関係機関との連携を図り、長期的な視点で児童への教育的支援を行うために、個別の教育支援計画を作成し活用することに努めるとともに、各教科等の指導に当たって、個々の児童の実態を的確に把握し、個別の指導計画を作成し活用することに努めるものとする。特に、特別支援学級に在籍する児童や通級による指導を受ける児童については、個々の児童の実態を的確に把握し、個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成し、効果的に活用するものとする。

平成31年度 (第1期試験)

東北大学大学院教育学研究科博士課程

(前期課程・一般選抜／社会人特別選抜)

臨床心理学コース

入学試験問題 (専門科目)

注 意

1. 試験時間は120分。
2. 問題紙は1枚(表紙を除く)、解答紙は5枚。
3. 解答は所定の用紙に記すこと(設問Ⅰ～設問Ⅲの解答は各1枚の解答紙を用いて、設問Ⅳの解答は2枚の解答紙を用いて、(1)～(4)を1枚目、(5)～(8)を2枚目に記入すること)。

【設問Ⅰ】 認知症患者への心理的アプローチについて述べなさい。  
(20点)

【設問Ⅱ】 近年、青少年の自殺やいじめ防止などを目的として、専門機関が提供するLINEなどを用いたSNS相談が実施されている。SNS相談のメリットとデメリットをあげて、相談を受ける者の注意点を述べなさい。  
(20点)

【設問Ⅲ】 近年におけるひきこもり者の問題とその支援について述べなさい。  
(20点)

【設問Ⅳ】 以下の用語をそれぞれ5行程度で説明しなさい。  
(各5点)

- (1) EMDR
- (2) ケース・フォーミュレーション
- (3) 偏差知能指数 (DIQ)
- (4) 児童の権利に関する条約 (子どもの権利条約)
- (5) 社交不安障害
- (6) 心神喪失者等医療観察法
- (7) ベンダー・ゲシュタルト・テスト
- (8) 仮説検定

(以下余白)